

ごあいさつ

醍醐地区社会福祉協議会 会長 茂木 藤雄

地域の皆様方には日頃より醍醐地区社会福祉協議会の事業、活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

福祉協議会を理解出来ぬまま2年目が過ぎようとしています。今年度は何の活動をしたのだろうか？と振り返った時、コロナ禍の理由だけでは済まされないが、ほとんどの事業計画を遂行出来なかった状況です。しかし、昨年12月に企画した寒河江市社協と地区社協との懇談会開催は有意義なものでありました。市社協の説明を受けて、その活動の幅広さを痛感しました。地域見守り活動を始め、いきいきサロン・食の支援・自立支援・災害ボランティア活動等すべての活動母体は市社協だったからです。醍醐地区社協も町会長・福祉推進員の活動は市社協に引けを取らない活動を行っていると考えますが、まだまだ未熟？と考えさせられた意義ある懇談会でした。

しかし、地区社協も学童保育（放課後児童クラブ）の運営母体として2年目、3学期を残すのみとなりました。現在20名が入所しており、特に共働き世帯には不可欠なクラブと期待されております。当然、厚労省の指導を受け全国各地の小学校の児童のための施設となっています。

最後に「カオス」の言葉が頻繁に使われている昨今ですが、醍醐地区はひとつ、更には寒河江市、山形県・・・とカオス化に歯止めをかけ、地域住民お互いが助けあい励まし合いながら生きなければ・・・を自覚しなければならないし、醍醐地区社協も微力ではありますが福祉の向上に精一杯頑張る所存です。

今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◇ ◇ ◇ 今年度の事業実施報告 ◇ ◇ ◇

今年度予定した事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三者懇談会及び研修会・地域福祉推進員懇談会・委員研修会と新そばを食べる会等は中止とさせていただきました。そんな中ではありましたが、今年度実施できた事業について報告します。

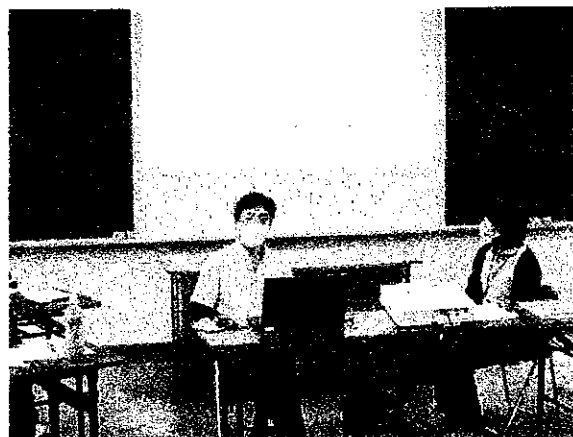
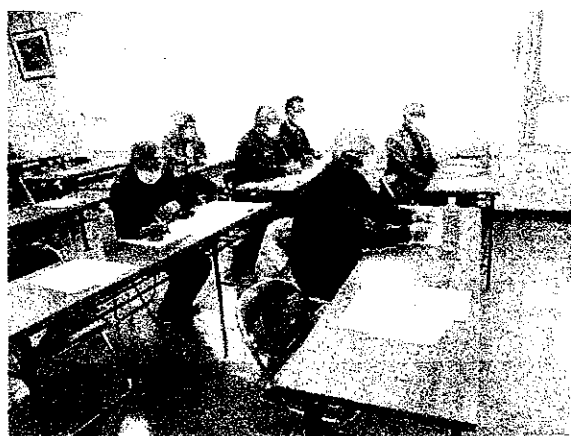
◎市社協と地区社協との懇談会

<12月1日（木）西部地区公民館>

市社協と地域福祉推進員・地区社協役員21名が出席して懇談会を実施しました。

市社協の担当課から介護福祉関係、地域包括支援センターの業務内容等について、入浴車を

使用した訪問介護の実施状況や高齢者の「よろず相談所」としての活動内容について具体的な説明を受けた後に、地区社協から関連事項等について質問する等、活発な懇談会になりました。



◎その他の活動

○醍醐小学校創立記念日に児童全員にノートを贈呈

醍醐小学校が創立148周年を迎え、10月13日の創立記念式で、当協議会の茂木会長から、全校児童47名に学習ノートを贈呈しました。

今後の学習に役立てていただければ幸いです。

・ 〇歳末たすけあい運動配分委員会を開催

12月8日(木)、日和田公民館で「醍醐地区歳末たすけあい運動配分委員会」を開催しました。地区内十数名の方々に、民生委員児童委員から歳末激励金をお渡しすることができました。

☆会話と声かけで町をあかるく

東上宿 地域福祉推進員 庄司 弘美

福祉推進員の役をやり始め早くも1年になろうとしています。始めの数か月は訪問してもなかなか顔を覚えてもらえませんでした。なぜなら、私は団地に引っ越してきて、働いていたので高齢の人の顔をよく知りませんでした。そんな私が「お元気ですか？変わりはないですか？」と話をするので、本人も初めて見る私の顔にびっくりしたと思います。幸い東上宿の訪問先では、家族が遠方から来てくれたり、娘さんが来てくれたり、とりあえずそれほど心配する家はないので安心しています。それと近所の人達が気にかけてくれたりして本当に助かっています。ありがとうございます。

私の家にも高齢になる義母がいます。足が悪いので電話で友達と話をしてしています。「元気でいるか？毎日何してる？」から始まり、電話が終わるとスッキリした様子でいます。会話が認知を防ぐことにつながっているのだと思います。

地域の人達が孤立して暗くならないように、会った時には会話をしてあげて、また、ちょっとした声かけで地域が明るくなったらいいなと思います。

★だいがっ子クラブの活動の様子

学童保育「だいがっ子クラブ」支援員 那須 郁美

日頃より、地域の皆様には、だいがっ子クラブの活動にご理解とご協力をいただきまして、感謝申し上げます。これからも、一人ひとりの子どもに寄り添いながら、安心して過ごせる学童保育になるように、職員一同力を合わせていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

ここ数年は、コロナ禍により、さまざまな制限がある中でも、子ども達は明るく、元気に学童で生活しています。少しですが、今年度の活動の様子を紹介します。

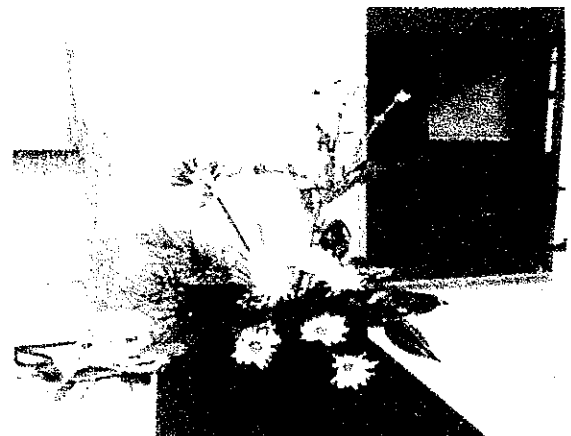
11月5日、山形市にある「FLAT bouldaring」に、ボルダリング体験に行ってきました。数年ぶりの戸外活動で、子ども達は終始楽しく過ごしました。ぐんぐんと上を目指して登っていく子ども達。お昼過ぎから夕方まで、たっぷりと体を動かした後のバスの中は、お昼寝タイムでした。「もっと登りたかった～」という声が多かったので、機会があれば、また体験に行きたいと思います。



11月10日、「元気なおばちゃんプロジェクト・慈恩寺ハスの手芸花」を醍醐小体育館で作りました。ハスの花托に各自好きな布に綿を包んで制作しました。また、12月9日に、各地区の公民館館長さんへハスの花の贈呈式を行いました。

「心をこめて作りました。公民館に飾ってください。」と、4年生が代表であいさつをし、花束にしたハスの手芸花を渡しました。

12月26日、「元気なおばちゃんプロジェクト・新年の生花教室」を醍醐小家庭科室にて行いました。講師の布施精子先生より、お花の紹介と生け方を教えていただきました。一人ずつ講師の先生から講評をいただき、出来上がったお花は、各自家に持ち帰りました。心を落ち着かせ、お花と向き合う有意義な時間でした。



★地区民の皆様へ

慈恩寺駐在所 小野 晟司

慈恩寺駐在所、格闘技夫婦の小野^{せいじ}晟司、^{かなえ}叶です。

私事ですが、今年の9月に長男が誕生し、慈恩寺の出生に一役貢献することができました。

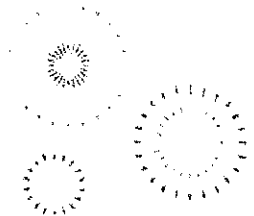
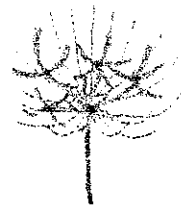
私から、皆様にお願ひ2つあります。

1つ目は家や車等の鍵をかけることです。昨年は鉄パイプや農機具が盗まれるという被害が県内でも発生しましたので、鍵をかけるものには鍵をかけ、盗難等の被害に遭わないように防犯意識を高めていきましょう。

2つ目は車両運転時の早めのライト点灯、歩行時の夜光反射材の着用についてです。横

断歩道中の事故が死亡事故に繋がりやすく、特に夕方の時間帯で高齢者の方が被害に遭う割合が高いです。車両運転時は早めにライトを点灯させ、安全確認をしっかりとってください。また、歩行者の方は夜光反射材を着用し、自分の存在をドライバーに知らせ、事故に遭わないよう気をつけていきましょう。

今年もよろしくお願ひします。



<編集後記>

この冬は前年に比べて雪片付けに追われる日も少なく、助かっていますね。一方、新型コロナについては、最近の状況として、感染者数は減少しているものの第8波の収束が見られず、連日亡くなる方が報告されています。5月には、感染症としての分類区分がこれまでの「2類相当」から「5類」に引き下げされるようですが、引き続き各自で手洗いやうがいを行って感染防止に努めましょう。今年度は、中止した事業計画が多くなってしまいました。新年度は、感染防止に努めながら、各種事業を実施したいと考えておりますので、地区の皆様のご協力をお願いいたします。

(地区社協 庶務担当 旭)